

第60回山口県中学校ソフトテニス選手権大会 競技上・会場使用上の注意

令和7年7月18日（土）～19日（日）【予備日：7月21日（火）】

会場：維新百年記念公園テニス場

1. 競技の進行について

- (1) 現行の（公財）日本ソフトテニス連盟の国際競技規則に則って行う。
- (2) 団体戦・個人戦ともに、すべて7ゲーム。
- (3) 団体戦については1チーム（校）3ペア編成の点取り対抗トーナメント戦とする。
 - ① オーダーはその都度変えても良い。選手の変更は、変更届けを必ず提出する。
第一試合のオーダーは、監督会議後すぐに提出すること。
 - ② 3ペアの中で、半数以上（2ペア）欠けた場合は以後競技を続けることができない。
 - ③ 1ペア欠けた場合のオーダーの欠番は3番目とする。
- (4) 団体戦はどちらかが初戦のときは3ペア全部が行い、以後は2点先取した方を勝者とし、試合を打ち切る。
- (5) 団体戦・個人戦ともに、3位決定戦は実施しない。
- (6) 使用球 団体戦（男女～ダンロップ） 個人戦（男子～ケンコー、女子～アカエム）
- (7) 試合前の乱打は1分以内とするが、乱打をしないときもある。
- (8) チェンジサイズの際とファイナルゲームに入る前のコーチについては、45秒で「レッツ、プレイ」をかける。熱中症対策として、ヒートルールを適用することがある。
- (9) 団体戦の上位2校と個人戦のベスト8は、中国中学校ソフトテニス選手権大会の出場権を得る。
- (10) 中体連に登録してある外部コーチのベンチ入りを認める。外部コーチのベンチ入りは1人が1チームとする。

2. 雨天の場合について

- 1日目が雨天の場合は、監督者会議を開き実施を検討する。
- (1) 1日目が中止になった場合には、2日目に団体戦を行い、3日目に個人戦を行う。
 - (2) 待機の後に団体戦が実施できれば、できる限り団体戦を行い、2日目に団体戦と個人戦を実施する。

3. コート割について（組み合わせに記載）

- (1) 進行によりコート変更をすることがある。

4. コートマナーについて

- (1) コートには、試合中の選手（団体戦は登録選手のみ）・監督又は外部コーチのいずれか1名しか入ることができない。
- (2) ベンチは、小さい番号が審判台から見て左側とする。観客席も同様とする。反対のベンチ側の観客席で応援をしない。
- (3) 次の試合の団体は、今行われている試合や放送に気を付けて待機し、終われば速やかにコートに整列する。
- (4) 次の試合の個人選手は、今行われている試合や放送に気をつけて割当コートの近くで待機しておく。
- (5) ラリーが続いているとき、及びサービスモーションを起こした時点からの応援の発声は禁止する。

- (6) 過度のかけ声または相手を不愉快にする発声をしてはならない。
- (7) チェンジサイズ時のベンチ監督からのアドバイスを除き、インプレイ中における監督、選手、外部コーチ、その他観客からのアドバイスを禁止する。過度の声かけが認められる場合、イエローカードの対象とする。
- (8) 審判に対して質問できるのは、団体戦ではベンチ入りしている監督（コーチ）またはプレイヤー、個人戦ではプレイヤーのみとする。なお、異議・申立はできない。
- (9) 原則として、応援スタンドなどベンチ外から、うちわやタオルで選手を扇ぐ行為や、飲み物等を直接渡す行為は禁止されている（競技規則上の助言・支援行為とみなされるため）。選手は十分な量の飲み物や冷却グッズを、必ずコートへ入る前に各自で準備して持ち込むこと。ただし、熱中症予防のため、試合中に手持ちの飲料が尽きた場合や体調不良を感じた場合は、速やかに審判へ申し出て、審判および相手校の監督・コーチの許可のもと、速やかに水分の補充をすること。
- (10) 試合中、選手および監督・コーチは、原則としてベンチ（またはコート）から退出することはできず、一度退出した場合はその試合中、元に戻ることはできない。ただし、お手洗いや体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、正審に申し出て許可を得ることで、一時的な退出および再入場を認められる。
- (11) 個人戦等において、自チームの試合が隣接するコートで同時に行われており、監督・コーチが隣のコートのベンチに入っている場合、選手が隣のコートのベンチへ赴き、アドバイスを受けることができる。

5. 審判について

- (1) 1回戦について団体戦は、2試合目のチームから3人ずつ出して行い、個人戦は本部で指定する。以後は敗者審判とする。
- (2) 正審と副審の2人で行い、その判定区分を明確にすること。
- (3) 正審は副審の判定区分のところは、副審のサインを確認した後に大きくはっきりコールすること。
- (4) イエローカードを発する場合、口頭にて行い、スコアシートに記録をとる。
- (5) 試合終了後、勝者は勝者サインをすませ、直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合のスコアシートをコートに持っていくこと。敗者はボールとボードの保管をし、次の試合の審判をすること。
- (6) 中国大会や全国大会に向けてコイントスを行う。

試合開始前のコイントスは、副審が以下の手順で行う。（※副審がいない場合は正審が行う。）

- ① 整列と確認：両ペアがネット越しに整列・挨拶後、正審が名前と所属を確認する。
- ② コインの提示：副審が、コインの「A面（表）」と「B面（裏）」を両ペアに示す。
- ③ トスの実施：副審が指でコインをはじくなどして上方に投げ、コートの地面に落とす。
- ④ 選択権の決定：落ちたコインの面によって、以下の通り選択権（先取権）が自動的に決まる。



A面（表）が出た場合：正審から見て 右側 のペアが権利を獲得。

B面（裏）が出た場合：正審から見て 左側 のペアが権利を獲得。

- ⑤ 権利の選択：権利を獲得したペアが、「サービス」「レシーブ」「サイド（コート）」のいずれかを速やかに選ぶ。敗れたペアは、残りの選択を行う。

※ 審判でトラブルにならないために

- ① 大きな声で、はっきりとジャッジをする。
- ② カウントを正確に数える。副審も数えておく。
- ③ 判定区分を侵さない。ただし、正審・副審ともボールが落ちた場所は把握しておく。

6. 服装、用具について【全国中学校ソフトテニス大会の規定を用いる】

- (1) ユニフォームは、(公財)日本ソフトテニス連盟の着用基準を満たしたものとする。ただし、学校指定の体操服は可とする。シャツの袖をまくったり、ズボンを下げて履いたりしない。監督・コーチは、上下ともスポーツウェアを着用する。
- (2) 服装・用具に新たにデザイン等を入れずに、装飾をしないこと。
- (3) 背中ゼッケンをつけること。大会要項に記載している3段ゼッケンを使用すること。上衣の裾はパンツ（スカート）の外に出してもよい。監督も胸ゼッケンをつけるか、チーム名・名前を記載したネームホルダーまたはIDカードホルダーを着用する。
- (4) コート内では、選手はもちろん監督も必ずテニスシューズを着用すること。靴や靴紐などを意図的に色違いにしない。
- (5) 服装（用具を含めて）の色の規定に準じて、医療用具（サポーター・テーピング等）の使用を認める。アンダーウェア（シャツ・パンツ）の使用を許可する。色は単色とする。色の指定はなくなったが、別色ラインなどはNG。
※県大会では使用届を提出する必要はない。
- (5) 選手の腕等へのペイント・文字の書き込み、磁気ネックレス、装飾品（ミサンガ等）、腕時計の使用は禁止する。ボールホルダーにもキーホルダーなどの装飾品はつけてはならない。
- (6) ベンチでの監督、選手の日傘の使用を認めるが、反射したり、ボールの色と重なったりすることのないように黒、紺、青等の濃い色のものを使用すること。観客席で使用する場合（観客・応援者等）も同様とする。
- (7) ベンチへの電子機器（スマホ、携帯型・首掛け扇風機等）の持ち込み・使用を禁止する。暑さ対策は水のうやうちわ等で対応すること。

7. 熱中症対策

- (1) 帽子を必ず着用すること。
- (2) できるだけ日傘を用意し、座って応援する。選手が座るための長いすを持ち込んでもよい。
- (3) 各チームで、体を冷やすための氷や、OS1などの経口補水液を準備すること。
- (4) 飲料水を審判台下に置き、チェンジサービス時の給水を認める。ファイナルゲームの際は、チェンジサイズの時に給水をする。
- (5) ヒートルールについて

日本ソフトテニス連盟の競技規則（第46条）に基づき、以下の通りヒートルールを適用する場合がある。

発動基準：暑さ指数（WBGT）が31以上（または本部の判断）となった場合、放送等で案内をする。

適用のタイミング：発動中の試合で「ファイナルゲーム」に突入した際に適用する。

休憩時間と場所：ファイナルゲーム突入前に、コート内で3分間の休憩（日傘等での休息）をする。

- (6) 本部の両側の部屋は体を休める部屋として開放する。利用にあたっては、以下のルールを厳守すること。

・私語・談笑は厳禁とする。静粛に休養すること。

・スペースが限られているため、長時間の滞在は避け、体調が回復次第、速やかに退室すること。

・緊急の処置を要する者が発生した場合、本部の指示により一時的な退室を求めることがある。

安全確保のため、各チームにて利用マナーを徹底すること。

8. 会場使用上の注意

- (1) 弁当がらなどごみはすべて持ち帰ること。
- (2) 貴重品は各自で保管すること。(盗難に注意)
- (3) 病人や負傷者がでた場合、本部の救護係で簡単な対応はできるが、病院等への搬送は各校で責任をもってすること。
- (4) チームの指導者や保護者が喫煙する場合は、喫煙場所で喫煙すること。
- (5) 屋根がある場所が少ないため、日差しや雨を防ぐテント等の準備をすることが望ましい。
ただし、通路にあたる部分にはテントを張らないでください。
- (6) 駐車場については、所定の場所を利用すること。
- (7) 防風ネットに触らない。
- (8) コートブラシは走ってかけないこと。
- (9) 早朝や試合等の空き時間にコート周辺をランニングする場合は、近隣住民に迷惑をかけるため、また感染防止対策として、かけ声をかけて走らないこと。

【大会参加におけるルールとマナーについて】

本大会は、中学校の教育活動の一環として開催されている。所属チーム（学校・クラブ）にかかわらず、参加する選手は以下のマナーを厳守すること。

- ・**スマートフォンの使用を控える。** 多くの学校のルールと同様に、会場内での選手のスマートフォン等の使用を控える。家族との連絡等で必要な場合は、指導者や保護者の方の管理のもとで行う。
- ・**中学生としてふさわしい行動を。** 挨拶やフェアプレーの精神を大切にすること。また、会場の美化（ゴミの必ずの持ち帰り）に努める。

貴重品の管理については、各チームで十分に注意されてください。高額なラケット、貴重品については選手自らが身に付けて移動させるか、貴重品を監督が預かり、持ち歩くようお願いいたします。監督自身の貴重品につきましても、「置きっ放し」にならないようご注意ください。